

## 六角精児さんが魅力を語る

7月17日、東京都千代田区の大手町サンケイビルでJR只見線の魅力を語るトークイベントを只見町の主催で開催しました。トークイベントには鉄道好きとして知られる俳優の六角精児さんとお笑い芸人のダーリンハニー吉川さんが出演し、全国屈指のローカル線として只見線がどれほど素晴らしいのかを只見の自然の素晴らしさと共に来場者楽しく話して頂きました。



▲只見線の魅力を語る六角さん(右)と吉川さん

また、会場では只見線のうちわやステッカーなどの只見線グッズをプレゼントしたほか、南郷トマトジュースやマトンケバブなど只見の名物をふるまうなど町のPR活動も行いました。



▲来場者は只見線のさらなる利用を誓いました

## 柏まつりに今年も参加

6月28日、柏市の「道の駅しょうなん」で只見町の臨時アンテナショップを開設しました。これは風評被害対策の一環として3年前から行っているイベントで、今回は只見名物「味付けマトン」のふるまいやユネスコエコパーク、只見町のキャラクター「ブナりん」のPR活動を行いました。マトンのふるまいでは行列ができ、食べた人か



▲ブナりんは柏市でも子どもたちに人気です

ら美味しいという感想が多く聞かれました。7月26日に行われた柏まつりの柏おどりコンテストには、只見チームとして踊りの団体などから24名が参加されました。とても暑い中でのコンテストでしたが、只見チームはともままとまりのある踊りを披露し昨年より順位をひとつ上げました。



▲猛暑の中、素晴らしい踊りを披露されました



▲視察団をのぼり旗で歓迎しました

7月1日、国会議員による「赤字ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟」の視察団8名が只見線の視察に只見町を訪れました。  
只見駅前で、只見線再開通の必要性について、町長や町民の方々が訴えると、視察団は「我々も只見線の復旧に全力で取り組んでいくので皆さんも引き続き頑張ってください」と話されました。

## 只見線を現地視察

赤字線を支援する議員連盟



▲委員からは様々な意見が述べられました

7月10日、朝日振興センターで、只見ユネスコエコパークについての課題協議や情報発信を行う推進協議会を発足しました。この日は、第1回目となる会議も行なわれ、8月3日にエコパーク登録記念シンポジウムと祝賀会を開催することを決めたほか、今後の取り組みなどについての意見交換も行われました。

## 推進協議会を発足

只見ユネスコエコパーク



▲雪村の貴重な500年前の水墨画を見る事ができました

7月15日、只見小学校で水墨画教室が行われました。これは、室町時代の水墨画家「雪村」の作品を通して水墨画の魅力を子どもたちに伝える「墨魅プロジェクト」事業で、授業ではまず水墨画の歴史を勉強した後実際に筆と墨を使って水墨画の描き方を学びました。児童たちは普段は体験出来ない事に戸惑いながらも楽しそうに取り組んでいました。

## 水墨画教室

只見小学校で



▲アシモに「これからも進化して欲しい」と授業の感想を伝えました

7月16日、明和小学校ではホンダ「アシモ」の特別授業が行われました。これはホンダが「夢」と「あきらめない気持ち」から誕生させたロボットのアシモを活用して子どもたちに夢や希望を膨らませて欲しいという思いから行っている事業で、アシモがダンスやサッカーなどする様子に児童たちは「凄い」「面白い」と感激していました。

## ホンダ「ASIMO」特別授業

明和小学校で